

## 新生JR東労組運動宣言について 一項目ずつ解説していきます！！

1. 私たちは、時代認識を踏まえ、雇用の確保はもとより、すべてのハラスメント行為を許さず、賃金、労働条件、安全の向上のために職場現実を正しくつかみ、組合員とともに運動をつくり出します

No.1

私たちは18春闘において大きく誤りを犯しました。その原因の一つは、時代の流れを読んでいなかったということです。生産性向上に対する会社の問題意識は高まり、機械化やシステム化はもとより、さらに効率的に業務を進めていくための人材活用が練られています。時代の進化を受け止める一方で、私たち労働者を直撃する様々な反動とたたかっていたらいけません。組合員がどのような状況に置かれているかを常にチェックし、不当労働行為やパワハラに対しては、すぐに事態を共有し、分会、支部、地本とも現実を掴み、たたかいをつくり出していきます。

また、労働組合としての基本線である雇用の確保、賃金、労働条件の向上、安全確保のどれもが、組合員の命と生活に直結するものです。そのため、これらのたたかいを一部の役員のものとするのではなく、みんなで議論し、問題意識を持ち、「たたかひ方」を学んだ上で運動を強化していきます。

私たちは時代の流れを正しく読み、厳しい時代にたたかえるリーダーや組合員の強化を目指し、職場運動をつくっていきます。

1. 私たちは、取り巻く情勢を見定め、会社施策に対して職場現実を踏まえ、真正面から建設的な議論を行い、経営協議会や団体交渉などを通じて健全な労使関係をつくり出します



これまでの会社施策に対する向き合い方は、原則論ばかりで、とにかくそれを押し通すという傾向がありました。その結果、職場現実からどんどんかけ離れた運動となっていました。会社施策に対し、不十分な点について会社への責任追及や、施策をやりにくくすること、施策を先延ばしさせるというのは本末転倒です。今後、経団連が示しているように、会社施策は効率化施策ばかりではなく、社員の活用の幅を広げ、いわゆる「労働の付加価値」を上げるための仕組みづくりが打ち出されてくるのは明らかです。

その中で、私たちを取り巻く状況を幅広く見ていかなければ、井の中の蛙になり、社会からも取り残されてしまいます。施策に向き合うことで大事なことは、施策の根拠をはっきりさせ、職場の変化に対して組合員が納得感を持つことです。それぞれの職場で、自分が行なっている一つひとつの仕事の意義を明確にし、変えていくべきことと、絶対に変えてはいけないことの区別ができるリーダーや組合員をつくるのが重要です。

私たちは、「スト権に頼らない、組合員と歩むJR東労組をつくろう」というスローガンを掲げています。これは会社との真摯な議論により問題解決を図ることを最優先するということであり、「職場の力」がなくては出来ないことです。したがって、要求の合理的な根拠を明確にして問題提起を繰り返し、建設的な議論をつくることで組合員の要求を実現させていくとともに、労働協約に基づいて健全な労使関係の確立を求めていくこととします。

## 新生JR東労組運動宣言について 一項目ずつ解説していきます！！

1. 私たちは、JR総連とJR総連に結集するすべての単組とともに、鉄道・バスなどの地域交通と安心して暮らせる社会を守るため、広く社会的な連帯をつくり出します

No.2

JR総連とJR総連に結集する仲間とともに、地域の問題や雇用、労働条件、平和の課題など、組合員・家族が安心して暮らせる制度づくりを求めて、広く組織内外に連帯をつくり出すということです。昨年日本を襲った台風15号、19号などで、JR東労組でも多くの組合員が被災しました。JR総連は加盟各単組にカンパの要請を行なっていただくという心温まる取り組みを行なっていただきました。

JR総連に結集する仲間たちは、単組ごとに課題を抱えJR総連と連携してたたかいをつくり出しています。一例をのべれば、JR北海道労組は経営基盤確立の問題、JR東海労は休日出勤や勤務明示問題などです。各単組とともにJR東労組としてできることを行い、安全、安心を大前提に働きやすい職場を目指して力を尽くしていくこととします。

1. 私たちは、全地本の新たな総団結を実現し、JR東労組の旗の下に組合員を拡大するため、不正や虚偽、あらゆる組織破壊策動を許さず、真実を組合員に伝えることを通じて信頼回復に努めます



12地本の総団結を実現してたたかいをつくること、そして最大の課題は組織拡大です。そのために、これまで、組合員を振り回してきた根源である不正や虚偽などを許さないためにたたかい、組合員にしっかりと真実を伝え続けます。

先日、東京地本の会計監査を行いました。かなりの額の使途不明金、目的外使用が明らかになりました。東京地本事務所にエルダー雇用をされていた3名の退職金は約2~3年の雇用期間にもかかわらず、一人あたり、約830万円~1070万円です。エルダー功労金や通常の計算方式からしても、この額は法外といえます。

また、中央本部で作成した新聞や討議資料が、水戸、東京、八王子の各地本に所属する組合員には、配られていないという事実も明らかになっています。中央本部は、「JR東労組東京地本を守る会」「組合員のためのJR東労組を守る八王子の会」の仲間とともに、水戸、東京、八王子地本の職場でJR東労組の旗を守り抜いてくれている仲間とともにたたかっていきます。

## この先の未来をつくるのは私たち一人ひとりです！ 全青年部員で運動をつくりだそう！